



那古野一丁目地区・ 景観まちニュース

景観まち ニュース創刊

那古野一丁目地区
景観まちづくり推進委員会
委員長 杉本義彦



那古野一丁目地区では、平成30年9月から約2年に渡り、名古屋市住宅都市局都市景観室と一緒に、まちの景観と住環境を守り育てるために話し合いを進めてきました。住民やこの地区のまちづくりに関心がある建築・不動産・まちづくりなどの専門家も参加し、時には大学生からまちに対する提案もいただき、景観協定の締結を目指す方向で意見がまと



まりました。令和2年から続くコロナ禍のなか、沢井北、沢井南、替地西、替地東、替地南そして大船町の6町内の区政委員をはじめ住民が中心となり、同年7月に推進委員会を設立しました。土地・建物を所有されている皆さまにお声をかけさせていただき、景観協定の同意書集めを行いました。もちろんマスク着用でソーシャルディスタンスを取ってのお願いでした。お寄せいただいた景観協定の同意書は200通を超え、この同意書をもって市へ認可申請し、令和3年6月18日に「那古野一丁目地区景観協定」が認可されました。名古屋市内では、名駅三丁目地区に次いで、2番目の景観協定地区です。

今後は、私たち住民が中心となって景観協定の運営を行います。そして四間道などの道路の電柱地中化を名古屋市に依頼し、実現できるように要望いたします。

景観まちニュース創刊へ！

先にも書いたように、景観協定は、私たち住民が中心となって守り育てていく必要があります。そこで、景観協定を運営する取り組みを始め、この地区の様々なまちづくり情報を住民の皆さまにお知らせするために、景観まちニュースを創刊します。

これまで、景観協定の締結に向けて皆さまのご理解とご協力に深く感謝するとともに、今後の協定運営に対して、地域の皆さまと店舗、企業さんの一層のご支援をいただきますよう、よろしくお願いたします。



建築計画等の事前協議のお願い

那古野一丁目地区景観まちづくり推進委員会では、那古野一丁目地区内での建築計画等について、景観協定の事前協議を実施しています。

事前協議の対象は、建築物や工作物（駐車場等）の新設・外観の変更等、広告物の掲出など、景観形成に大きく関わるものです。施主を始め建築関係者の方々に景観協定の趣旨やルール内容を説明し、周囲の景観と調和するよう配慮していただくことをお願いしています。

今後、名古屋駅のリニア関連工事に伴う開発が行われ、名古屋駅とその周辺地域には新しい街並みが作られることが予想されます。一方で、昔ながらの町並みや住環境と商業が馴染むこの情景は作ろうと思って作れるものはありません。

那古野一丁目地区景観まちづくり推進委員会は、みなさんがこれまで大切に守ってきた「那古野一丁目地区らしさ」を将来においても守り育てていきたいと考えています。

建築等を計画される際は、那古野一丁目地区景観まちづくり推進委員会事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。



那古野一丁目地区景観協定を示す看板（案）

景観協定地区内で次の行為を計画・構想する場合

- (1) 建築物の新築、増築、改築や移転、用途の変更、外観の変更を伴う修繕、模様替え、色彩の変更
- (2) 工作物の新設、増築、改築や移転、外観の変更を伴う修繕、模様替え、色彩の変更
※工作物とは、門、さく、塀、自動販売機、駐車場等が対象です
- (3) 広告物の表示（表示内容の変更を含む。）または掲出物件の設置



事前協議

計画変更可能な時期に
事務局へ連絡

那古野一丁目地区景観協定
運営委員会・景観まちづくり
推進委員会による

**確認申請・
工事着手**

事務局：那古野一丁目地区景観まちづくり推進委員会事務局（浅野健）

✉snagono2014@gmail.com

☎052-242-3262

まちへの想い

景観まちづくり推進委員会は6つの町内会（替地町東部、替地町西部、替地町南部、沢井南部、沢井北部、大船町）が中心となって運営を担います。各町内会長が、このまちへの想いを語ります。景観や住環境の保全に向けて、ご支援・ご協力をお願いいたします。

御本坊筋に面する町内は、この7〜8年で全体の半数が古民家からこぎれいな飲食等の店舗に衣替えして、町のたたずまいが大きく変化しました。10年後は住民の高齢化やりニア開業でどのように町の様子が変わるか想像出来ません。

替地東部町内会長 関谷 充男



叔母が円頓寺で店をやっていた事もあり小さい時からよく遊びに来ていました。この地区にあつたお風呂屋さんに店の皆と行くのは楽しみで、帰りにお好焼を食べるのも楽しみの一つでした。店から風呂屋までは暗く長屋続きの細い道ばかりだったと覚えています。その時と比べれば随分様変わりしましたが、今できる事は四間道と共に景観協定から地区計画へと一歩ずつ進めたらと思っています。

替地西部町内会長 羽田野芳光



都心のエアールポケットへようこそ！昭和の時代で時間が止まったままのような当地区は景観協定という令和の息吹を受け時間が進んで参ります。是非当地区にお越しください。さらにお住まいを当地区に求めて頂ければ幸いです。

替地南部町内会長 市川昇平



円頓寺商店街に立ち、左手に那古野ハウス（ポルダリング）、右手に那古野ハモニカ荘（ナゴヤ座）が。そこから南へ伸びる車が通れない細い路地が「沢井筋」。すぐ左へ折れて四間道へ抜ける古い長屋が残る町並。通称「猫とび長屋」。ここで育った私ですが週末になると観光客が訪れます。町内の路地奥にたたずむ「子守地蔵尊」も何かしら不思議な落ち着きをもたらえます。こんな町が私は好きです。

沢井北町内会長 神谷伸二



四間道と堀川の間の旧大船町は名古屋城築城に伴う清洲越以来、商人の町として、また名古屋の食料庫として発展してきました。乾物・油などが保存されていた蔵はその良さを残しつつ時代に合った店舗として今も活躍しています。

大船町町内会長 谷口和也



幼いころは三味線や銭湯に通う下駄の音を聞き育った。近年古民家がカフェなどになり、昔の面影を求める若い観光客も増え、人の流れも変わりました。このまちが好きです。この雰囲気と住みやすさの調和を求め、次世代に繋いでいきたいです。

沢井南町内会長 加藤一枝



四間道の入口に鎮座する浅間神社では、毎年10月1日に前日祭、2日に例大祭が行われます。今年の例大祭は、コロナ禍の中で毎年行われるみたらしの振る舞いは中止となりましたが、本殿で御祈祷と舞の奉納が行われました。樹齢300年を超えるイチヨウの御神木をはじめ豊かな木々に囲まれた本殿で、元伊勢神宮の職員だったみなさんによる雅楽の生演奏をバックに巫女さんが舞う様子に感動し、長年氏子や町内のみなさんがお守り、地域の方々に親しまれている神社だと改めて実感しました。

ところで、この浅間神社について、みなさんはどのくらいご存知でしょうか。まず創建はというと、「尾張志」という古文書によると江戸時代前期の正保4(1647)年にここに移せりと記されています。この神様は、五穀豊穡や子孫繁栄などのご利益がある木花開耶媛命(こ

のはなさくやひめのみこと)が本殿ですが、他にも日常生活の富士光稻荷社、商売繁盛の恵比須社、学問成就の天満宮社、鎮火・防火の秋葉社、除災招福の津島社が祀られています。氏子の方のお話によれば、口コミで訪れ御利益を得られてファンになったビジネスマンも多く、毎月確実に3000人は訪れているとか。知る人ぞ知るパワースポット、浅間神社の御利益にあやかってみませんか。



景観まちづくり推進委員会の活動を応援してくれる 店舗・企業さんを募集しています！！

景観協定は10年間効力があり、地区の住民が中心となって景観まち(景観まちづくり)推進委員会を組織し、景観や住環境を守り育てる活動を進めていきます。この活動に賛同いただける店舗や企業さんからの協賛金を募集しています。

協賛金は、景観まちづくり推進委員会が行うニュースの発行、事前協議をはじめとする運営資金に活用します。賛同していただける店舗や企業さんには特典もあります！

少しでも興味を持ってくださった方は、事務局までぜひご連絡ください。

協賛金：1口1万円/年

特典：①ニュースで店舗・企業さんの紹介記事を掲載

②ニュースにバナー広告掲載

③ホームページ(今年度作成予定)上でのバナー広告掲載

④景観まち推進委員会のロゴ入りステッカー